

令和2年度第1回 名張市地域公共交通会議事業推進部会 議事概要

日時 令和2年7月8日(水)

午後1時30分より

場所 名張市役所 庁議室

出席者：(敬称略)

(1) 委員

中平 恭之 (近畿大学工業高等専門学校 准教授)
豊永 育子 (公益社団法人 三重県バス協会)
池田 守 (名張市地域公共交通会議 委員)
石川 裕三 (名張市地域公共交通会議 委員)
澤田 恭子 (名張市地域公共交通会議 委員)
喜多村 明美 (名張市老人クラブ連合会 女性部 副部長)
勝木 祥文 (名張商工会議所 総合商業部会長)
宮崎 正秀 (名張市地域環境部 部長)

(2) 事務局

都市整備部都市計画室 4名

1. 開会

2. 議事

(1) 令和元年度事業報告について

(事務局より資料をもとに説明)

部会長 ご説明ありがとうございました。ただ今の事業報告につきまして、何かご意見ご質問ございましたらご遠慮なく伺いたいのですが、何かございませんか。アンケートにつきましては、もう少し突っ込んだ分析をしております、地区的にどのあたりに住んでいる方が利用されていないのか、その特性は何なのかなど込み入った分析をしているので、今回は挙げていませんが、そのあたりも考慮しながら緑が丘地区で考えていきたいと思いますが、なかなか難しいところもありまして、分析するのに時間がかかります。分析も1度作ってしまえば簡単なのですが、例えば緑が丘地区で行った分析方法を別の地区でやろうと思えば、かなり時間がかかります。手法自体は使えますが、当然アンケート自体も時間がかかりますし、その辺が全地区ではなかなか、予算もありますので、できないような状況ですが、1つひとつ今回は緑が丘地区で問題をクリアできればと思います。実はアンケートでは年収はなかなか聞かないのですが、あえて聞いているのは年収によって何かの差が出てくる場合が多いので、年収をお聞きして分析の中に入れてみたのですが、今回年収はあまり大きな要因にはなっていませんでした。何かございませんでしょうか。

委員 アンケートを見せていただいたのですが、緑が丘地区でアンケートをされていますが、緑が丘地区とする意図はあるのですか。

部会長 みどり号が運営的に厳しいというのが1つと緑が丘はコンパクトな地区なのでまずそこでいろんな要因を探ってみようということで対象地区に緑が丘を選びました。

- 委員 あと何か所かコースがありますよね。例えばコモコモ号やほっとバスなど各地区でもこれからアンケートを取っていく考えはありますか。
- 部会長 予算的に厳しいところもあるので、僕の方ではありません。ただ今後どうしていくかは市の皆さんと協議しながら考えていかないといけないです。
- 委員 もう1つ教えてほしいのですが、アンケートの間16で満足度を聞いていますが、どういうところに満足しているかなど分類されていますよね。こういう結果の報告は教えてもらえないですか。
- 部会長 アンケートが、満足、やや満足、普通、やや不満、不満の5段階で聞いています。それぞれ総合的な満足度や乗車時間などそれぞれの項目で満足度を聞いています。例えばバス停位置ですと満足と答えられた方が39.3%、やや満足の方が8.4%、普通の方が41.3%、やや不満が6.7%、不満が4.2%という数字になっています。
- 委員 これはバスの中に乗車されてのアンケートですよ。
- 部会長 これは緑が丘の15歳以上の住民に向け各戸配布しました。
- 委員 そしたら考える時間もあるということですね。
- 部会長 そうですね。乗っている方だけではなく住民の方を対象に送って返信があった方の結果になっています。
- 委員 はい。ありがとうございます。
- 部会長 その他ございませんか。
- 委員 問4-1の外出の頻度で、年齢階層別で見ると後期高齢者の方は約40%、前期高齢者の方は約70%の方が毎日外出をしていますが、後期高齢者の方だったら例えばデイサービスなど福祉面での外出も入っているのか、どうでしょうか。
- 部会長 一応そういった外出もすべて含めたうえでの外出になっています。アンケートでは代表的な買い物と通院は別で聞いていますが、それ以外のものは聞いていません。
- 委員 アンケートの回収率は4割ということですが、アンケートの精度としては一般的なアンケートから見てどうなのでしょう。
- 部会長 回収率はいい方です。最近公共交通の関心が高いのでいろんなところでやると3~4割、いいところだと6割くらいです。一般的なアンケートでは2割くらいです。関心は薄いわけではないのかなと思います。
- それでは、また何かございましたら議事の2が終わってからでも結構ですので、次の議事に進みたいと思います。令和2年度の事業計画について事務局から説明をお願いいたします。

(2) 令和2年度事業推進部会事業計画について

(事務局より資料に基づき説明)

- 部会長 令和2年度の事業計画について、何かご意見ご質問はございませんか。
- 委員 いろんな事業が今回コロナの関係で中止になってきていますが他の市町村でも、例えば津市でも津まつりが早々に中止決定して、そこでもお絵かきバスをしていて毎年楽しみにしていたご家族の方が早朝から順番を待っていたりしたのですが、今年は中止にされるそうです。乗り方教室も年々増えてきつつありましたが、高齢者対象のものも含め実施したという例は

聞いておりませんし、実施する予定のところも今はありません。いつも7カ所くらいしていたところがありましたが、今のところは中止されています。名張市が特別中止というわけではなく、県内すべて同じ状況です。

部会長 なかなか人が集まるイベントは難しいところで、例えば人数を絞って10人、20人の規模なら可能かもしれませんが、無理してやる必要はないと皆さんおそらく考えると思うので、なかなか開催は難しいのかなと思います。

事務局 乗り方教室は高齢者の方や小学生の児童の方対象で今までやってきていますが、例えば今方向を変えて、今はバスに乗って伊賀の営業所まで行ってバスに乗って帰ってくることにしていますが、その移動部分をなくしたり、学校のグラウンドで乗り方教室をするというのも1つの手かだと思います。今、事務局の方では試行錯誤はしていますが、学校でやっていくとなれば問題なのが、学校の協力が必要になってきますが、今コロナの影響で授業日数が基本的に足らなくなっている中で、1, 2限単位で乗り方教室は時間を取ってしまうもので、そのあたりも学校とお話をさせてもらいながら、規模を縮小してでもできるのであればお願いしたいと思っていますが、色々な考え方がありますので、私どもも「中止」とは書かせていただいていないのはそういう理由があります。いろんな方法を試行錯誤しながらお子さんに対して、最近では自家用車で移動するというのがほとんどになってきていますので、中学生や高校生で初めてバスに乗るといような、うちの子どももそうですが、中学生までバスに乗っていないくて、高校で初めて乗るといことになるので、このような事業は必要なのかなと思っておりますので、色々考えながら、ご提案させていただこうと思いますので、そういうかたちで今進めさせていただいています。

委員 今年無理にしなくても、例えば来年に実施が可能であれば、学校とのご相談で去年できなかった今年2年生の子は3年生になっていると思いますが、2, 3年生合同でするなど、絶対に2年生でする必要はないかなと思いますので、状況を見ながらいただけたらと思います。バス協会では、県内の小学2年生全員にバスの乗り方ファイルを配っております。2年生の手元には乗り方ファイルが届いていますので、教室の中などで見ていただけているかなと思います。

部会長 その他ございませんでしょうか。

委員 1番の啓発事業のところ、イベントの中止による啓発の代替案について、現在検討中とありますが、漠然とした言葉で、どのように検討されているのかということも一般の方もわかりにくいし、これを何年間か楽しみにしている子どももいるので、どうなっているのかよく聞かれるのですが、今年はコロナがあるから駄目かなと言うと残念そうな顔をしているわけです。それを見るのもかわいそうだと思いますし、例えばやり方としてお絵かきバスの場合は、とれたて名張のようなイベントですると当然人が集中するので、それはできないと思います。だから、私の考えとして、お絵かきするバスをある場所に停めておいて、何日から何日まで個人的にそちらの方に来て絵を描いてくださいといった方法はできないのかなと思います。個人で来てくださいますれば集中することはないと思います。

事務局 今のところ、どの啓発事業についてもすべてイベントに抱き合わせで人の集まる場所にバスを持って行って、バスを知ってもらうというイベントをさせていただいていますの

で、バス単体だけで啓発事業をしてこなかったもので、どれだけの人が集まるのか正直に言ってわかりませんので、場合によっては委員さんがおっしゃるとおりまばらであるかもしれませんが、それを広報することで一挙に集まる可能性もあり、そのあたりを読めないところがあるので、お絵かきバスの実施というのは、正直私どもは難しいと感じています。おっしゃるとおり検討中というのはあやふやでわからないではないかということではありますが、正直なところこういった状況に陥ったことがないので、何をしようかと悩んでいる最中であり、今日皆様のおお恵も伺いながら何かできるものはないかと探っているところです。

委員 我々からすると当然コロナも怖いし何もかもが中止となると気持ちも滅入ってくるし、バランスが非常に難しいですが、そこを工夫するというのが一番大事なところですので、いろんなことを鑑みて前向きな姿勢で工夫をしてほしいです。やり方は色々あると思います。抽選にして日にちを分けてするのも1つの方法ですし、難しいとは思いますが工夫してできないかなという要望です。

事務局 検討させていただきます。

委員 地域環境部の方でも小学校で環境学習をさせていただいて今年も何校か依頼があり、ただ2コマの授業のコマを取っていましたがそこを短くして1コマというかたちでさせていただいています。その中で、バスの乗り方教室が授業の一環としてなのか、別途でしているのかわかりませんが、先程事務局がおっしゃっていただいたようにコマ数として2コマとっていたのを1コマにして学校内で「こうして乗るべきだよ」ということをする。その中にもしお絵かきバスというものがそれとは別のバスになるのか、同じバスであれば、行って書いてもらうことにすれば啓発にもなります。今回配りものが全部できないので、環境の方でもクリーン大作戦などの啓発事業ができませんので、子ども達の親御さんに配ってしてほしいということでごみのガイドブックや4月からごみの分別が変わったことの案内など、なかなか親御さんもそういったものを見る機会が少ないのでそういったのを配らせていただきました。そもそもその乗り方教室が無いとできないですが、そういう機会があれば保護者の方向けに配るという方法もあると思います。老人クラブの事業は今年はどうですか。

委員 今回初めての参加であり、こういうことをされるというのも初めて知りましたので、まだ戸惑っていて何も言えませんが、住まいはずらん台ですので、バスも結構充実していますので何も意見としてはありません。

委員 福祉の方でサロンというのは当然地域の皆さんと福祉の部局が連携してやっていますが、徐々に再開していく方向で、アルコールを配らせていただいたりしながら福祉の部局が再開に向けて準備を進めていただいているので、そういったところへも啓発であればできるのかなと思います。免許返納でどんな制度があるのか、市でも作らせていただいている、ほしいということであればサロンで配らせていただいたりもしています。そういった中でも何か配ったりもできるのかなと思います。

部会長 そういったところを利用させていただいて、例えば今コロナ禍にある中での公共交通の利用方法であったり、啓発をできれば早いうちにした方がいいと思いますね。子ども達のは難しいかもしれませんがね。なかなか事務局もおっしゃっていただいたように授業時間がとれない部分もあり、市内でどれくらいか存じ上げませんが、夏休みを短縮するという話も聞いています。

僕も関東で予定していたドローンの輸送について子ども達に教えてほしいというのがありましたが、大きな施設でやる予定でしたが、放課後子ども達が集まるところで、WEBでの開催になりました。意外にWEBだと子ども達がやりたがるらしくて、やたらと質問がありまして、資料で答えないとイケなかったのが翌日大変でした。当初2時間の予定が15分に短縮されました。時間を短縮して場所もとらずWEBで映してやるのもありかもしれません。

委員 乗り方教室についてもそうなんです、バス協会や運輸局も現在止めているということは全くありません。県下での実施は今のところありませんが、先生がおっしゃったように授業時間が短く社会見学も行けていません。修学旅行も県内の周遊くらいじゃないと無理かもしれないという状況で学校の先生もどうしても目の前のやらないとイケないことがあり、そこまですぐ手が回らないのかなと思います。

委員 今の乗り方教室ですが、子ども達の立場に立ってみると楽しみにしている行事の1つだと思います。ですから、今年できなく来年度複数学年とするなど、そういう工夫をされて、実施している小学校の子達では1度は体験できるようにしていただきたいと思います。

委員 こういったバスの乗り方ファイルは県内の小学2年生全員に配っていますが、在庫はありますので高齢者の方の集まりや学校の社会の授業なんかで使うといったご要望がありましたら、持っている範囲でどんな団体でもお配りできます。協会が配るとなると公平に全児童となるので数が足りませんので、ご要望があればお渡しできます。

お絵かきバスは、やり始めた当初は素通りされる方が多かったです、楽しみにしている子がいると聞きましたので、すごくうれしいです。

委員 バスに絵を描くのも1つの楽しみですが、自分が描いたバスが走っているのを見るのも楽しみにしている子もいます。近所の子を車に乗せていた時、たまたまお絵かきバスを見かけて、しばらく追いかけていたのですが、どこに描いたかがわからず、結局見つけられませんでした。そのお話をさせてもらったら、輪郭を描いたらわかりやすいと聞いてなるほどなと思って輪郭を描くようにその子に言っていました。そしたら今年ができないということになって残念がっていました。子どもとしては、コロナが怖いと言っているけどどのくらい怖いかわかっていないと思います。ですから自分の興味のあることには一生懸命なので、寂しそうな顔をしています。なので、なんとかできないかと思って、事情が事情です困っている状況です。

部会長 その他ございませんか。特にこの路線図、事務局が作成しまして、僕はこんなの自分では絶対作らないので…。

事務局 それでは、事項書のその他の方で挙げております路線図についてご説明いたします。

(3) その他 市内バス路線図について

(事務局より資料をもとに説明)

部会長 何かご意見ございましたら、せっかくの機会ですので。

委員 私は美旗地区ですが、こういう地図がほしかったなど。乗り継いで乗り継いで、つつじが丘行くのでもいったん桔梗が丘駅に出てという不便なことをしていたので、とてもうれしいのですが、これを見てナッキー号がもう少し美旗駅の方に伸びてくれたら、はたっこ号は西回

りと東回りがあり別々のダイヤになっているので、お友達も病院に行って桔梗が丘駅まで帰ってきたはいいけど美旗まで帰れず結局タクシーに乗ったというのをよく聞きます。なのでもう少しでもナッキー号が伸びてくれば美旗の地区の人は助かると思います。

事務局 ナッキー号についてですが、非常にたくさんの方に乗っていただいております、いろんな地区からナッキー号のご要望をいただいております。ナッキー号の1番の目的は市街地循環ということで、桔梗が丘駅、名張駅、市役所を拠点とし市内中心部の主要な施設を回って運行させていただいておりますので、それですべての移動を賄おうとしているわけではなく、ナッキー号を軸として各地域のコミュニティバスであったり、三重交通の路線バスと連携して公共交通網として1つの皆さんの移動が成り立つようなかたちで考えているところです。現在ナッキー号は1周するのに1時間40分かかっていることもありますので、路線についてこれよりも拡大することは現状1台で運行している以上は難しいところですので、直ちに新たな地域を回るというのは考えていないところですが、そのような状況をご了承いただければと思います。

委員 このような立派な地図を作成していただいております。2つお聞きしたいのですが、1つ目はこの地図をどういうところに活用されているのかお聞きしたいのと、去年ほっとバス錦がビバホームまで伸びましたが、その利用がどの程度変わっているのかわかったら教えてほしいです。

事務局 まずこの路線図ですが、今はまだ作ったばかりで今から活用していこうというところです。活用の方法としては拠点となる駅や人の集まるところに掲げることにより、ここからどんなバスがどういったところに走っているのか、バスが走っていることを知らない方について知っていただく機会としたいと思っておりますので、名張駅、桔梗が丘駅には掲出したいと思います。また、いろんな機会をとらえて市民の皆様幅広く配布していきたいと思っております。それから、ほっとバス錦のビバホームまでの延長をしたのが本年の4月1日からで、利用状況については運営協議会に確認してみないといけないのですが、コロナの関係で全体的に利用者が減っている状況でもありますので、正確な利用数については把握しておりません。今後確認させていただきたいと思っております。

委員 ありがとうございます。

部会長 その他いかがでしょうか。名張駅や市役所といった拠点になるところを黄色にしているのでしょうか。

事務局 そうです。

委員 これは例えば病院やスーパーにも掲示するかというのはお考えですか。

事務局 そうですね。路線上で店舗としてご協力いただければ、掲出と手にとって持って帰っていただけるようにさせていただければと思っています。

委員 当然自分の地区であればわかると思いますが、たまたま用事で他所に行ったときに、その地区でどんなバスがどの程度走っているか全然わからない方もいると思うので、病院やスーパーに貼っていただくとどのバスに乗ればいいのかなどを把握できると思うので、ぜひお願いしたいと思います。

事務局 検討いたします。

- 委員 これには所要時間とか始発の時間がありませんし、これは会議用なのでしょうか。
- 部会長 最終的には皆さんの意見を聞いて修正して、先ほどありましたようにいろんな施設で掲示したり配布する予定です。
- 委員 市報などにこの路線図を載せて配布するというのはどうでしょうか。
- 委員 できればコマースシャルを入れるなど。
- 委員 バス停の前に仮に貼ったとしても、利用する人はいいでしょうが、拡大しないとわからないと思います。
- 事務局 まず、こちらは路線図ですので、路線上でどこにどういうバスが通っているかを示しています。もちろんこれだけで完結するわけではなく、時刻表も別にありますので、それも活用していただきながら、拠点になるところに貼らせていただくことによって、拠点にはもちろんバス停がありますので、そういったところも合わせみながら実際に乗っていただく際に活用していただきたいなと思います。おっしゃるように、市広報への掲載については、広報自体が白黒ということもありますので、このままの状態ですべてに配布させていただくというのができないのですが、できるだけ多くの市民の皆様の目に触れるようなかたちについては今後検討していきたいなと思います。
- 先ほどもご意見がありましたが、当然バス停や例えば市立病院やふれあいなどの拠点となるところに掲示をさせていただこうと思っています。施設管理者と協議もさせていただきながらぜひとも置いてもらえるように進めていきたいなと思います。
- 部会長 難しいところもあり、お金のある市町村は路線ごとに立派で畳めるような大きいものを作ってそれを全市民に配ったりしていますが、かなりお金がかかります。僕もそういうところの委員をしていますが、それを配るよりもっと違うことをやった方が、効果があるんじゃないかと思ってしまう。何億とお金をかける場合もあります。そのあたりの費用のバランスもあります。名張市はそんなに裕福な自治体ではないなと思いますので、配布するのがいいのか、そうではなくて拠点に置いておいてそれ以外の費用は別のところにかけた方がいいのではないのかというの皆さんの意見として考えていただきたいなと思います。どれが効果があるかというのはなかなか難しいですが、なるべく最小の費用で最大の効果となるように集中的にやった方がより利用者も増えてくるでしょうし、市民の皆さんの満足度も増えてくると思います。おっしゃったようにこれを見ていつ乗れるとか乗り継ぎをどうするかというのは一切なくて、それをどういうふうに周知していくかというのも必要でしょうし、1つとしては市立病院だと、これをまず掲示して、同時に時刻表も配っていただくなどの方法があると思います。ターゲットとするのはご高齢の方だと思います。若い子は携帯ですぐ調べるので、おそらく生産年齢人口の方はみんな携帯で調べてわかってしまうので、そういうのをお使いでない方、あるいは小学生などそういった情報が入ってこない人たちに対応しないといけないと思います。
- 委員 先程の事業報告のところでGoogleマップのルート検索で時刻が反映されるということだと、乗り継ぎも反映されるんですね。それだと乗換案内と同じように検索すればわかるということですね。
- 事務局 この路線図上にQRコードを設けてそのリンク先に乗換案内のサイトやGoogleマップにつ

- なげることもできますので、スマホをお持ちの方だったら、カメラで読み取っていただくと自動的に Google マップやナビタイムなどの検索サイトを開いたりということはできます。
- 部会長 昨年には主要な乗継拠点別の時刻表も作っていただいております、主要な箇所はそれを見ても時刻がわかるようになっています。そういうのは本当はいろんな方々に配布できればよりいいと思いますが、印刷して配布するとなるとかなりの予算がかかってしまうので。
- 委員 この路線図を名張市で作られたというのはすごいと思います。業者にお問い合わせすると何百万という金額が発生するので、これだけ手作りでカラーでわかりやすく作ったのがすごいと思います。ポスター紙ならもっと高いと思いますが、こういうわら半紙のような紙で簡単に作られたので、私としては、乗っていない人が乗るきっかけとしては本当は全家庭に配られたら、これは決して捨てられはしないと思います。どこか冷蔵庫にでも貼っておこうかとなり、例えばお子さんやお孫さんが県外から家に来られた時、おじいちゃんおばあちゃんが車が無いから、駅までバスで帰るとなった時これを見て、携帯で調べるといった乗るきっかけづくりにはなると思いますので、完璧なところまでは行かずともきっかけづくりの地図になればと思います。業者に頼まず作られた素敵な路線図ですので、つくりあげていくこともできると思いますので、業者だと1つの路線を変えるのにかなりのお金がかかってきますが、名張市が作ってみるので、バス停が変わってもなんとでも変更ができます。ただ、この白い丸というのがバス停の丸だと思いますが、名張市役所前の反対側にもバス停があったと思うのですが…。
- 事務局 三重交通のバス路線が変わった関係で名張市役所というバス停が2つあったのですが、1つに統合されました。
乗継拠点の黄色く囲まれているところは、白い丸ではなくこの黄色がバス停のマークになっています。
- 委員 ちょっと地形がわからないので聞きますが、例えば左に下黒田というバス停があり、ここにナッキー号とほっとバス錦のバス停があると思いますが、これは2つとも下黒田というバス停ですか。
- 事務局 はい。
- 委員 極端に言えばここで乗り継ぎはできるのでしょうか。
- 事務局 なにも無いようなところですが、時間が合えばできなくもありません。
- 委員 個人的な案ですが、例えばナッキー号と三重交通とか他のコミバスと時間が合えばですが違う系統に乗り換えができるバス停だけ色を変えるのもいいかなと思います。
- 部会長 色を変えるとしても何色にするかですね。
- 事務局 それか、乗り継ぎできる場所は、地下鉄のようにすべての路線をまたぐような楕円にするとか。
- 委員 単純な質問をしたいのですが、きれいで一番わかりやすい地図を作っていただきました。乗っていないからわからないのかなと思います。例えばナッキー号で市立病院から駅に向かおうとする場合、先に図書館を回って行って、郵便局に行ってふれあいを回って名張駅の西口に着くと思います。そのへんで、ここに余分な線を入れてしまうのもっと見にくくなるかもしれないと思いますが、そんな疑問があり、四角になっているところはどっちが先なのかなとは思

ます。

事務局 おっしゃるとおり、これでは走行する方向がわかりませんし、先ほどもありましたように、はたっこ号は2系統あってその回り方も表示されていません。この路線図についてはこれですべてを解決できるとは思っていません。まずはどこにどの路線が走っているのかということを示すものだと思っています。それに加えて時刻表などを手に取ってもらって実際に回り方を見てもらう方法がよいのかなと思います。あまり詰め込みすぎるといふものがあるので、現時点でのものになるのですがもう少し必要な情報があれば載せたいなどは思っています。

委員 この路線図をパッと見た瞬間たいへんよくわかる優れたものだと思います。実際利用しようと思うと、バスから電車への乗り継ぎというのは比較的ハードルが低いと思いますが、バスの本数が限られている中でバスからバスへの乗り継ぎというのは非常にハードルが高いと思います。ですから、できたらナッキー号にしても1本で行ける線を多くしていただきたいと思うのと、バスからバスへの乗り継ぎの連絡が比較的容易になるように乗り継ぎ時刻表といったもの、昨年作っていただいたものもありますが、より乗り継ぎがしやすいようにわかりやすくしていただけたらと思います。

部会長 すべての乗り継ぎを載せるとなるとかなりのボリュームになると難しいところがあって、去年は主要なところの分を作成しました。先ほど質問があったように実はあえて情報を載せないというのも1つの手として、これを見て興味がある人は何かしらで調べるので、あえて載せないで興味を持ってもらって覚えてもらうというのが実は方法論的にあります。その話は難しいところで、どちらの方が効果があるのかこれまでもこの先もたいしてわからないと思います。情報をたくさん載せてもいいけど、載せすぎると地図がわかりにくくなってしまうし、載せなくて興味を持って調べてもらうというのがあります。

委員 地図のことにに関してですが、揚げ足を取るようで非常に申し訳ないのですが、ほっとバス錦でしたら停留所の名前が全部入っていますよね。他のところでは入っていないものもありますよね。これを入れるとややこしくなるから削除しているわけですか。

事務局 そうですね。まずもってコミュニティバスのバス停名についてはすべて網羅されています。三重交通のバス停についてはすべて載せると文字ばかりになってしまうので、終着のバス停だけは入れさせていただいています。どちら方面に走っているバスなのかがわかるようなかたちにさせていただきました。

委員 はい、わかりました。

部会長 他に、路線図でなくても結構ですので、何かご意見ございませんか。

委員 前回、百合が丘地区で老人クラブのメンバーが集まってバスの停留所のところにベンチを作った3年くらい前に各停留所に置いてあります。夏とか雨の時に屋根が無いのですが、我々では敷地の関係もありますので、個人的には無理だと思うのでベンチだけを置かせてもらったのですが、どうしても屋根を作りたいと思っているのですが、当然予算もかなりいるので、そのことを言わせてもらったら一度検討しますという答えが返ってきたのですが、その後何か進展がありますか。

事務局 バス停の屋根については、全てに付けるというのは難しいこともありますので、拠点となるようなところになれば、その整備は必要になってくると思いますが、百合が丘のすべての停

留所に屋根を付けるというのは正直難しいと思います。歩道の幅もありますので、柱などを建てることによって歩行者や4輪のシニアカーのようなもので走っていただいている方の支障にもなるので、そういった構造上もなかなか難しいのではないかと考えています。

委員 はい、わかりました。

部会長 設置基準が決まっていたと思います。基本的に歩道も道路の一部なので、道路上に構造物を作ることは基本的に認められていないので、ある一定の幅が無いといけません。

委員 そしたら、例えばバス停のところに誰でも使えるような常用傘を置いたりするのはだめなんでしょうか。家から持ってきてないけど降っちゃったという時に使えたらいいかなと思うのですが。

部会長 基本的には安全面でダメだと思います。

委員 役所の方で打合せさせていただいて、その時はどんどん建ててくださいという返事ではなかったのですが、やるならやってもらってもいいですが…といったニュアンスを感じました。確かに歩道の広いところと狭いところがあるわけです。広いところはいいですが狭いところはお店の方に頼んでちょっとベンチの4脚があるのを2つだけ敷地の中に入れてもらってできるだけ歩道に支障の無いように置かせてもらったのですが、中には家の前に置いてもらっては困るというところもありました。現にいま2カ所ほど停留所に置いていないところもあります。それは反対されたので無理にはできませんので、そこだけ置いていません。地区の住民の方は、他所はあるのになんでここだけないのかという電話もかかってきます。理由を話すとそこを何とかできませんかと言われたこともあります。できないものはできないので、我慢してもらっています。屋根なんかは当然無理かと思いますが、いずれは希望としてそういうのが置けたらと思いますが、難しい話ですのでだめなんでしょうか。

事務局 市の方とお話しいただいたというのは、おそらく道路管理者とお話をさせていただいていると思います。当然バス停というのは道路際にあたり、ベンチなどは歩道にあたりとしていますので正式にそういうお申し出があれば当然道路上には障害物を置かないでくださいねというのが原則です。ですので、お答えとしてはなかなか難しいですねとなりますが、どうしても必要で致し方ないものについては、占用許可というものを取っていただいて設置していただくという方法もあります。ですが、それも歩道の幅員や通行上支障が無いかということをもろろ道路管理者が検討しますので、そのお答えをしているというのは、正式であれば、だめなんだろうねということになってきます。だから、全てのバス停にそれを置くというのは道路管理者としてはお答えできませんし、基本的にはダメですというお答えになると思います。

委員 以前、三重交通のバス停にはベンチがあったんです。それが古くなって座ったら倒れそうなベンチでしたので、それを新しくしたからやむを得ないなということで許可が出たのだと思います。おそらく新規ではだめで、既存のものがあつたのでそれを新しいものに切り替えたので許可が出たのだと思います。

部会長 他の地区でもそういった話が結構ありまして、昔は勝手に置いている場合が多くて昔の方はそういったことに寛容な方がおおかつたので苦情も出なかったのですが、今の時代は町内会でも苦情を言ってこられる方が増えましたので、置けなくなってきています。今はそういう

事情が通らなくなって「いいですか」と言うと「だめです」としか答えられないと思います。議論するとだめになってしまうので、自治会の中で色々お話し合いをしてもらえたらと思います。ただ、万が一事故が起これば誰が責任を取るかになるので。

委員 我々ほとにかくベンチを置きたいということだけが頭にありますので、役所や警察からすると一般的なことを考えてもし何かあったらということを考えますが、我々は考えておりません。あったら楽でいいなということだけに集中して作ろうかというところまでいってしまうので、いろんな無理を言いに行っていると思います。いやな顔もせずに聞いてくれるのをありがたいと思っていますが、それ以上のものをやりたいというのがありますが、限度もありますので…。

部会長 その他ございませんか。よろしいでしょうか。

事務局 今日報告いたしました事業報告、事業計画、路線図は8月に開催する地域公共交通会議の方で報告、提案させていただきますので、よろしくお願いいたします。

部会長 それでは時間もかなりたちましたので、これをもちまして令和2年度第1回の名張市地域公共交通会議事業推進部会を終了いたします。